

# 第1章 スtockマネジメント計画の目的

## 1-1 目的

長野市の下水道事業は、昭和28年にJR長野駅から善光寺にかけての市街地において公共下水道の整備に着手し、昭和34年に供用を開始しました。その後、人口の増加、平成10年の長野冬季オリンピック、パラリンピックの開催、また、市町村合併等に伴う施設整備を進めるとともに、農業集落排水事業や合併処理浄化槽事業の推進により、平成29年度末では、人口普及率が97.5%となり、ほぼ全市において下水道を利用できる状況となりました。一方で、事業初期に整備された施設は、標準耐用年数を超える老朽化を迎えており、今後さらに増加する見込みであります。

そこで、下水道施設の機能を安定的に維持する予防保全型の施設管理を進めるため、施設の状況を点検・調査によつて的確に把握し、修繕等による延命化を図りながら改築更新を計画的に実施することで事業費の縮減と平準化を図る「長野市下水道Stockマネジメント計画」を策定しました。

## 1-2 位置付け

「長野市下水道Stockマネジメント計画」は、下水道施設の改築更新の基本計画と位置付けます。上位計画である「長野市下水道10年ビジョン」の施策の実施計画であり、「(見直し)長野市下水道事業経営戦略」の投資計画の基となります。

(図1)

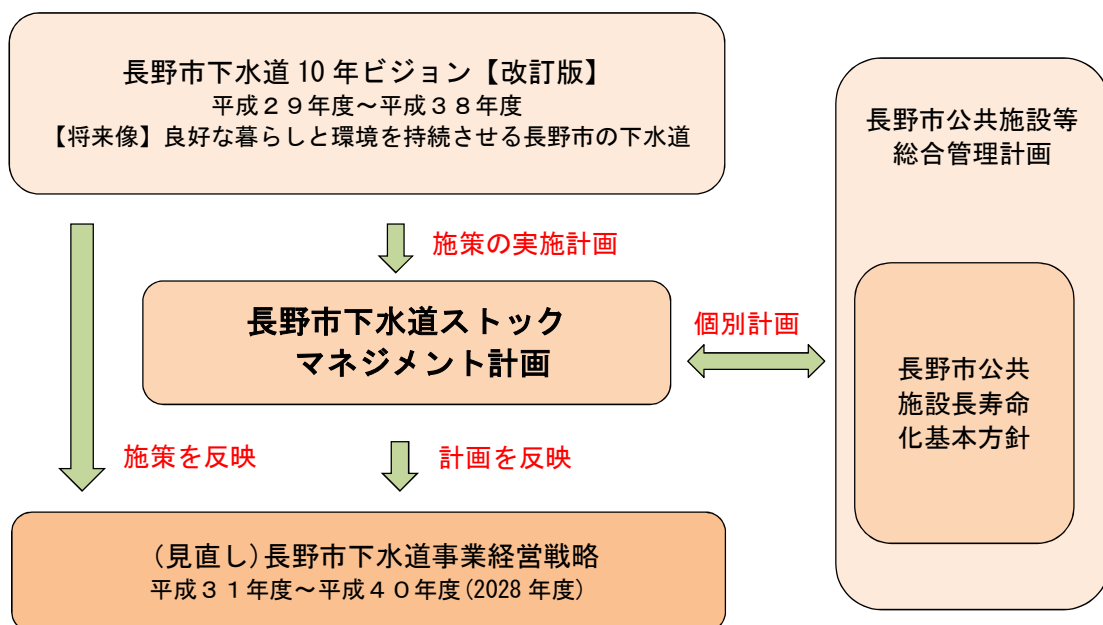


図1 Stockマネジメント計画の位置付け